

ニコニコ箱・米山奨学金・ロータリー財団報告

【ニコニコ箱】

【誕生日御祝】 岩下春幸・野尻章博・山本 宝
 大門さん、卓話ありがとうございます。羽生さん、別司さん、局長の御伴お疲れ様でした。(出雲路康照)
 日銀の河合さん、1年でしたがありがとうございます。大門さん卓話ありがとうございます。羽生さんも別司さんもテレビで見るよりステキで美しいですね。(片岡正明)
 大門さん、卓話ありがとうございます。(角谷恒彦)
 大変お世話になりました。たくさんの励ましのお言葉を頂きありがとうございます。(河合真児)
 河合さん、大変お世話になりました。ありがとうございます。大門さん、卓話ありがとうございます。(北 晋介)
 大門会員の卓話にて生のニュースが聞けて。(清水慶造)
 あまりに早い離福にびっくり!ご活躍のことお祈りします。(清水慶造)
 本日久しぶりに会長代行を努めさせていただいて。(清水嗣能)
 大門さん、卓話本当にありがとうございます。羽生さん、別司さん、いつも素敵な笑顔をありがとうございます。河合さん本当に残念です。健康第一。(杉本裕之)
 ニコニコの目標まで微妙な状況ですので、ご協力よろしくお願ひします。(西澤雄三)
 河合さん、短い間でしたが、ありがとうございます。(萬谷宏治)
 大門会員、羽生さん、別司さん、卓話ありがとうございます。(森川圭造)

幹事報告



幹事 村中 洋祐
 ① 次週例会終了後、「今・次年度理事役員委員長連絡会議」がユアーズホテル 5Fルミエールにて開催されます。

② 先週土曜日に開催致しました「子どもの貧困対策フォーラム」に於きましては、多数の会員のご出席を頂きありがとうございました。
 当初、事前登録の出席者が少なく動員について心配いたしましたが、事前登録の無い一般の参加者の方が多数お越しになりました。名簿ベースでは227名となっておりますが、250の席が一時満席となり、大変関心の高いテーマであったと思います。継続事業として今後も取り組んで行く予定でございますので、会員皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



事務所 〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3番1号 加藤ビル5階 TEL:0776-25-0633 FAX:0776-24-8622
 例会場 ユアーズホテルフクイ4F TEL:0776-25-3200 例会 毎週木曜日12:30~13:30
 クラブ会報委員会 委員長:谷崎由美子 副委員長:伊藤 彰
 委員:中広 久・佐々木輝明・土屋道照・千頭和孝則・中島康志・角谷恒彦
 ソングリーダー:チーフ:野尻章博 山本啓史・村井 勝・木村憲一・木瀬雅博・吉村千春・渡辺崇嗣
 ホームページ http://www.fukui-rotary.com/ E-mail info@fukui-rotary.com
 創立 1950年(昭和25年)10月15日 RI承認 1950年(昭和25年)12月4日(承認NO.7647)

現在会員数
136名

【米山奨学特別寄付金】

ベトナムからの米山奨学生であるトラン ティトアさんを歓迎して。(清水嗣能)
 荒本秀一・加藤幹夫・坂本安夫・清水盛伸・宮崎為夫 各 君

【ロータリー財団増進特別寄付金】

大門さん、卓話楽しみです。羽生さんと別司さん、福井出身とは存じませんでした。(朝倉真博)
 大門局長、卓話ありがとうございます。シネアドのご利用にもお礼申し上げます。(伊井彌州雄)
 子どもの貧困フォーラムは「青少年奉仕月間」子供達、若い人達が夢を持てる未来のためにピッタリの集まりになりました。(片岡正明)
 大門さん、卓話ありがとうございます。(佐々木輝明)
 子どもの貧困対策フォーラムの成功を祝して。(清水嗣能)
 大ファンの羽生さん、別司さんにお会いできて。(清水正一)
 私と母親が福井病院にて診察を受けた際には、林先生にご尽力を頂き、適切な治療を受けることが出来ました。(野村直之)
 河合さん、1年間ありがとうございました。(林 洋三)
 5月20日 三国祭です。正午 神社前に全部の山車神輿が勢揃いします。ぜひご覧ください。(宮崎茂和)
 角谷恒彦・城戸利枝 各 君

【寄付金の状況】

	5月17日分	累計	目標
ニコニコ箱	38,000円	2,763,873円	3,200,000円
米山奨学金	12,000円	2,022,000円	2,270,000円
ロータリー財団	23,000円	2,851,460円	2,987,000円

ありがとうございました。

【ビジター受付】

- 5月 30日(水) 大野 大野商工会議所内事務局
- 5月 31日(木) 武生府中 JA越前たけふ会館 豊穰殿入口
- 6月 5日(火) 福井南 福井織協ビル正面玄関
- 6月 8日(金) 福井西 休 会
- 6月 15日(金) 福井あじさい 休 会
- 6月 21日(木) 福井水仙 福井パレスホテル1F 18:00-18:30
- 6月 22日(金) 三国 三国観光ホテルフロント
- 6月 26日(火) 福井南 福井織協ビル正面玄関
- 6月 27日(水) 大野 大野商工会議所内事務局
- 6月 29日(金) 福井あじさい ホテルリバービューアケボノ
- 6月 29日(金) 福井西 パードグリーンホテル 正面玄関入口
- 6月 29日(金) 三国 三国観光ホテル フロント



ROTARY CLUB of FUKUI

R.I. District 2650 2017-2018 Weekly Bulletin 2018年 5月 24日 第2376号(創刊2532号) 福井ロータリークラブ



ロータリー: 変化をもたらす

R.I. 会長 アイアンライズリー R.I. 第2650地区ガバナー 田中 誠二

福井ロータリークラブ会報

2017-2018年度 R.I.テーマ:変化をもたらす 地区スローガン:愛着と誇り

理 事	監 事	役員補佐
会長 平野 洋一	清川 卓二	副幹事 森川 圭造
副会長・会長エレクト 渡邊 義信	大森 正男	監事 片岡 正明
直前会長 佐々木知也	藤本 潤一	副会計 朝倉 真博
幹事 村中 洋祐	伊井彌州雄	副会場監督 油谷 啓司
会計 浅井 正勝	前川小百合	副会場監督 市橋 信孝
会場監督 上田 祐広	ロータリー財団 城戸 利枝	

本日の例会 2018年 5月24日 第3327回

- 12時30分 開会点鐘
 会長挨拶
 表彰
 【米山功労者】片岡正明会員(第5回)・佐々木知也会員(第2回) 稲田朋美会員(第1回)・梅井啓介会員(第1回)
 【第54回 米山功労クラブ】
 【ロータリー財団】
 マルチプル・ポールハリスフェロー3回目 伊藤 勲会員
 マルチプル・ポールハリスフェロー2回目 油谷啓司会員・平野洋一会員
 マルチプル・ポールハリスフェロー1回目 石丸敦士会員・城戸利枝会員
 ポールハリスフェロー 登谷大徳会員
 委員会報告・幹事報告・その他
 会員卓話(山井 久也会員)
- 13時30分 閉会点鐘



今後の予定

- 5月 31日(木) クラブ協議会 (次年度五大奉仕担当理事 計画発表)
- 6月 7日(木) 栄誉行事/クラブフォーラム
- 6月 14日(木) 職場訪問例会(福井医療大学)
- 6月 21日(木) クラブ協議会(年間活動実績報告)
- 最終夜間例会 (ローターアクトクラブとの合同例会)

5月は「青少年奉仕月間」です。 — 子供たち、若い人たちが夢を持てる未来のために —

〈次回の例会〉2018年 5月31日(木) ■会場:ユアーズホテルフクイ ■開会点鐘:12時30分 ■閉会点鐘:13時30分

例会報告 2018年 5月17日 第3326回 例会

出席報告	● 現在会員	137名	例会修正出席率
	● 出席者	67名	
	● 欠席者	58名	
	● 出席免除者欠席	12名	
	● 今回例会出席率	53.6%	
4月26日			
●	メイクアップ	32名	
●	欠席者	24名	
●	修正出席率	81.7%	

●メイクアップ 村上与司和(5/13 地区ローターアクト会長エレクト並びに指導者講習会/次年度ローターアクト委員長会議)、須賀原和広(5/16 福井 RAC)、土肥正彦・清水則明・中島良成・天谷智宏・清水慶造・西澤雄三・山内鴻之祐・木下勝元・西田高宏(5/15 福井南)、武本一美・中島良成・市橋信孝・木下勝元・野村直之(5/15 福井ニッパ)、中島良成・北 晋介・林 正岳(5/17 福井水仙)、中島良成・西田高宏(5/7 福井東) 各君

会長挨拶



バスト会長
清水 嗣能

先日5月12日には、平野会長のもと「子どもの貧困対策フォーラム」ということで多くの方にお集まりいただき、ロータリーらしい事業が出来たことを大変喜ばしく思います。

平野会長の思い入れが強い事業でもあることから、改めて例会でお話いただけるものと思います。

さて、私自身、ロータリーの会長経験も踏まえ、奉仕の精神というのは自分の職業並びに外でこそ発揮していくべきものだと思っております。先般、旅館業協同組合による福井国体に向けた「おもてなし決起大会」でも話した内容ですが、表参道にある「カシタ」というレストランに行った時の経験についてお話しします。

予約した店の出迎え段階の応対から料理提供に至るまで、店員みんなが「清水様お待ちしております」、「清水様いらっしゃいませ」などのすばらしい対応、そしてメニューまでも「清水様」と記載される心配りでした。

また、デザート時のラテには、店長と交換した名刺を見ながら書いたであろう私のホテルのロゴまで描かれており大変に驚きました。食事を終えて帰る際も、階下までの見送り、60~70m離れてもまだ手を振って見送る姿にさすがだなと思いましたが、いざホテルに帰ってみれば、「今日ご利用ありがとうございました。お気づきの点があればまたお知らせください」旨のFAXまでが入っていました。10年前のことですがいまだに鮮明に覚えています。

良い印象を与えるということは、人ができないこと、よそにできないことを徹底してやることであり、福井もこれから国体で多くのお客様をお迎えするにあたって、学ぶべき点があるのではないかと思います。

委員会報告

あしながプロジェクト事業
藤本 潤一 リーダー

250席準備した客席が満席になり、椅子を追加してもなお入れずに帰られる方が出るほど多くの方にご参加いただきました。ご協力ありがとうございました。

小藤会員、大門会員をはじめとするメディアのご協力もいただき、また、翌日の福井新聞にも大きく取り上げていただき感謝しております。

今年度の事業はこのフォーラムをもって一旦終了にはなりますが、次年度も同じメンバーで続けてくださいとのことであり、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

30の取材拠点があり、1万人あまりの職員が働いています。その中で、福井局は職員67名が放送部、技術部、企画編成部、営業部に分かれて働き、スタッフ、出演者など60名あまりとともに仕事をしています。ごく標準的な地方局の体制です。

そして、福井での放送というと、まずは、月～金曜日の夕方6時10分からお伝えしている「ニュースザウルスふくい」です。2009年、テレビ放送開始50年に始めたニュース情報番組です。人気のコーナーは、「ほやほやみつけ隊」。

「ほやほや」と納得する話題をお届けしたいと、自分でカメラを回すこともあります。「うちの地区には田んぼしかないよ〜」、「山しかないわ〜」と最初はおっしゃいます。

でも、今まで250回以上放送した中で、自慢がない地区は1つもありません。

右上に続く➤

例会

退会挨拶



河合 真児 会員

1年という短い間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。

2年目を迎えロータリーにも、福井の街づくりにも貢献していきたいという矢先のことであり残念です。しかしながら私自身としては、おいしいお酒、食べ物、楽しい所など皆様に教えていただき充実した1年間を過ごせました。

これからも福井の応援団であり続けたいと思いますし、ロータリークラブの活動にも関心を持って見ていきたいと思っております。東京にお越しの際はまたお声掛けください。

会員卓話



大門 博也 会員

＜地域放送にご注目を！＞

みなさま、こんにちは。NHK福井放送局の大門です。本日は、これからのNHK福井局の地域放送について話をさせていただきます。

まずは、NHKについてですが、全国に54の放送局、海外に



NHK 福井放送局 キャスター 別司 愛美(べっしまなみ)さん

NHK福井放送局キャスターの別司です。敦賀市出身で、キャスターを務めて4年目になります。

この「ほやほやみつけ隊」は、地域の「知る人ぞ知る」名所や名物、旬の人などを紹介。できたて「ほやほや」の話題、

会員卓話

左下より➤



放送後、出演者から「テレビでとったね〜」って10年ぶりに



大門 博也 会員

今日、地域放送について話をするのは、経営課題と関係があるからです。

NHKの次期3カ年経営計画(2018年-2020年)では、「大切なことを、より深く、より身近に」をスローガンにして、5つの重点方針を掲げています。

①は、「公共メディアへの進化」。③は、「未来へのチャレンジ」。④は、「視聴者理解・公平負担を推進」。⑤は、「創造と効率、信頼を追求」です。

そして、②つめが、「多様な地域社会への貢献」。これは、上田会長が、会長になる前、監査委員として、全国のNHK53局をまわり、そのとき、果たして各局が本当にその地域に寄り添った放送が出来ているかどうか、画一的な放送になっていないかどうか、問題意識をもちました。そこで、地域放送改革を打ち出した次第です。

それに関連して、NHKの地域放送に対する視聴者の意識を



NHK 福井放送局 キャスター 羽生 ちひろ(はにゅう ちひろ)さん

みなさま、こんにちは。改めまして、キャスターの羽生ちひろです。大野市の里イモで有名な上庄地区の生まれで、芋っぽくて、すみません。どうかご容赦ください。

只今ご覧頂いた、『ザウルス!今夜も掘らナイト』。福井が大好きなバックと一緒に、お得な情報から、素敵な人の思いまで、色んな角度から福井の「お宝」を掘り起こす、そんな番組です。これまでの放送では、全国に先駆けて始まった福井の新しい働き方「在宅専門の正社員」や「サテライトオフィス」について掘り下げ、また、人工衛星を作る福井の技術などを紹介しました。



大門 博也 会員

最後に、ひとつクイズです。この数字は何か。「89.6」。これは福井県の世帯の受信料支払い率です。(平成28年度末の集計)福井の皆さんには、多大なるご理解、ご支援をいただき、心より感謝する次第です。

受信料といえば、先般、最高裁の判決がありました。受信料制度は合憲であり、受信契約の締結は法的義務であることを認める判決が出され、司法判断が確定しました。大法廷は、受信料制度について、「NHKに国家機関などからの影響が及ばないようにし、広く公平に負担を求める仕組みだ」とし、「憲法が保障する表現の自由の下で国民の知る権利を実質的に充足するために

同級生から電話があったわ〜」、「録画して何回も見返したよ」。ありがたいお言葉をたくさんかけていただき、大きな励みになっています。

今年のニュースザウルスふくいのテーマは、「ふくいの今と向き合い ぐらしに寄り添う 命を守る放送を」です。自分を育ててくれた福井に、恩返しをしたい。そんな思いで、みなさまに寄り添った番組をお届けします。ありがとうございました。

ご紹介します。NHKのある地方局の視聴調査で、およそ2500人から回答を得た、地元民放との比較です。

まず、「日常的に見るのは、NHKか民放さんか」というと…民放。では、大きなイベントなど「非日常的なものを見るときは…NHK」。

続いて、「地元や地域の情報が多い」といった「実用性」のあるのは…民放。「信頼性・報道力」があるのは…NHK。

最後に、「活性化に貢献している」、「文化振興に貢献している」、「元気と共感を与える」といった「地域貢献」しているのは…当然、NHK、と思いきや…民放でした。

これが、大変、残念なところなんです。

地域に貢献できる地域放送局をめざして、この春、本部で「地域改革推進室」が誕生しました。全国に6つのパイロット局が選ばれ、様々な試行錯誤をすることになりましたが、福井局も選ばれました。若手が職種をこえて検討グループを作り、議論して作り上げたのがこの番組「ザウルス!今夜も掘らナイト」。

福井に詳しいバックも、知らなかった!と驚くほど、ディープな福井を掘り出しています。

今後の放送では、大野市の山間の限界集落で自然と共に暮らす家族の話題や、幕末明治150年で熱いトークを繰り広げる歴史などを予定しています。

福井の皆さんが、「福井ってやっぱりいいね。実はすごいな」と再確認してもらえるような、そんな番組を作っていきたいと思っています。

今後とも応援して頂けたら幸いです。よろしくお願いたします。

採用され、合理的なものとして解される」としました。

この判決に対し、色々な声があがりましたが、福井新聞にこんな論説がありました。『政府が右というものを左というわけにはいかない』と述べた前会長、政権寄りのニュース解説、強引な集金人トラブルなども相次ぎ、質の劣化が指摘される。まさに判決が問いかけた「公共放送のあるべき姿」が問われているのだ。「NHKよ 驕ることなかれ」そんな国民の声が聞こえないか。こうした声を真摯に受け止め、今後も視聴者の皆さんには、受信料制度の意義を丁寧に説明し、公平負担の徹底に努め、社会に、そして、地域に貢献する公共放送、公共メディアをしっかりと担っていきたく思います。

これからもよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

同好会(季楽会)

5月14日(月)昨年末オープンした「望月(ぼうげつ)」にて季楽会をに開催しました。福井市内の有名な料亭で修行しただけあり、どの料理も美味しくてお酒がすすみ、楽しい雰囲気となりました。

